

## 特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第16期8月度理事会議事録

- I. 日 時：平成30年8月18日（土）13:15～16:40
- II. 場 所：東京都港区 建築会館301+302会議室
- III. 出席者数：理事総数19名 出席理事数19名
- IV. 出席理事氏名：武見ゆかり（理事長・議長）、南久則（副理事長）、赤松利恵、上西一弘、川久保清、川島由起子、菊地和美、木村典代、小切間美保、酒井徹、佐藤伸、下浦佳之、鈴木公、瀧本秀美、塚原丘美、名和田清子、村山伸子（第65回学術総会会長）、由田克士、山本浩範

出席監事氏名：富田教代、林静子

その他の出席者：竹内弘幸（第66回学術総会会長）

### V. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、赤松利恵理事及び菊地和美理事を選任することを全員異議なく承認した。

### VI. 審議事項 ※（ ）は提案説明者

#### 【I. 通常総会関連事項】

1. 特定非営利活動促進法の改正に伴う定款変更（上西庶務担当理事）
2. 法人格のあり方（南副理事長）
3. NPO第15期庶務報告（上西庶務担当理事）
4. NPO第15期事業報告及び決算報告並びに監査報告（赤松学術担当理事、塚原財務担当理事、富田監事）
5. NPO第16期事業計画案及び予算案（赤松学術担当理事、塚原財務担当理事）
6. 評議員候補者の選出（上西庶務担当理事）
7. 名誉会員・終身会員候補者の推薦（武見理事長）
8. 通常総会・評議員会の運営（上西庶務担当理事）

#### 【II. 庶務関連事項】

1. 激甚災害被災会員への対応に関する申し合わせの制定（上西庶務担当理事）
2. 学会賞等に関する細則の改定（川島理事）
3. 各種委員会委員の選出（上西庶務担当理事）
  - （1）理事候補者選挙管理委員
  - （2）食環境整備推進委員
4. 今後の会議予定（上西庶務担当理事）

#### 【III. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告（由田編集担当理事）
2. 投稿規定・執筆要領の改定（由田編集担当理事）
3. 栄養学雑誌サプリメント「平成29年度厚生労働省委託事業WG特集号」刊行準備（由田編集担当理事）

#### 【IV. 学術関連事項】

1. 第65回学術総会準備状況（村山第65回学術総会会長）
2. 第66回学術総会準備状況（竹内第66回学術総会会長）
3. 第67回学術総会準備状況（菊地理事）

4. 学術総会の演題登録システムについて（赤松学術担当理事）
5. 「健康な食事・食環境」推進事業（赤松学術担当理事）
6. 日本給食経営管理学会共催事業「食品データベースに関する連絡・検討会」（仮称）（由田理事）
7. 関連学協会等との連携（回覧資料）
  - （1）全国公衆衛生関連学協会連絡協議会総会への出席
  - （2）ILSI国際会議プログラム委員会への出席
  - （3）一般社団法人和食文化国民会議会報他資料提供
  - （4）公益財団法人不二たん白質研究振興財団「公開講演会『大豆のはたらきin札幌ーおいしさと健康を通してー』」の後援
  - （5）一般社団法人日本摂食障害協会「世界摂食障害アクションデイ2018」後援事業開催報告
  - （6）公益社団法人日本栄養士会「平成29年度管理栄養士専門分野別人材育成事業」報告書の送付
  - （7）公益社団法人日本栄養士会「栄養の日・栄養週間2018」ポスターの送付
  - （8）小浜市「第17回杉田玄白賞」募集周知協力

#### 【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業（酒井広報担当理事）
2. JSNDメールニュース事業（酒井広報担当理事）

#### 【VI. 国際関連事項】

1. 国際活動推進委員会報告（村山国際担当理事）

#### 【VII. 厚生労働省委託事業】

1. 平成30年度管理栄養士専門分野別人材育成事業 教育養成領域での人材育成（武見理事長）

#### 【VIII. 支部会活動】

1. 支部長会議の準備（武見理事長）
2. 各支部会からの活動報告
  - （1）北海道支部会（菊地理事）
  - （2）東北支部会（佐藤理事）
  - （3）関東・甲信越支部会（木村理事・副支部長）
  - （4）北陸支部会（山本理事）
  - （5）東海支部会（塚原理事・支部長）
  - （6）近畿支部会（由田理事・支部長）
  - （7）中国支部会（名和田理事）
  - （8）四国支部会（酒井理事・支部長）
  - （9）九州・沖縄支部会（南副理事長）

### VII. 議事の経過の概要及び議決の結果

#### 【I. 通常総会関連事項】

1. 特定非営利活動促進法の改正に伴う定款変更・・・原案を承認し、評議員会・通常総会に上程することとした。
2. 法人格のあり方・・・原案を承認し、評議員会・通常総会に上程することとした。
3. NPO第15期庶務報告・・・原案を承認し、評議員会・通常総会に上程することとした。
4. NPO第15期事業報告及び決算報告並びに監査報告・・・原案を承認し、評議員会・通常総会に

上程することとした。通常総会に提出する決算資料の他に、今期の納税申告に関する計算書類と支部会会計報告に関する資料が配付された。本理事会に先立ち、午前中に開催された監査結果が報告された。

5. NP0第16期事業計画案及び予算案…原案を承認し、評議員会・通常総会に上程することとした。通常総会に提出する予算資料の他に、第65回学術総会の最終予算案が配布された。
6. 評議員候補者の選出…原案を承認し、評議員会・通常総会に上程することとした。
7. 名誉会員・終身会員候補者の推薦…名誉会員・終身会員となることの諾否を確認中であった候補者から回答が得られた旨、説明があり、前回理事会で承認された名誉会員候補者2名および終身会員候補者7名に加え、名誉会員候補者として中村丁次氏を、終身会員候補者として小松啓子氏、長谷川克己氏を評議員会、通常総会に推薦することを承認した。
8. 通常総会・評議員会の運営…会場レイアウト、登壇者ならびに提案者を確認した。

## 【Ⅱ. 庶務関連事項】

1. 激甚災害被災会員への対応に関する申し合わせの制定…原案の一部を修正して承認した。承認された申し合わせは別紙のとおりである。2018年7月豪雨災害の被災会員への対応について、通常総会資料に掲載し、理事長から説明することとした。
2. 学会賞等に関する細則の改定…原案を承認した。承認された細則は別紙のとおりである。実践活動分野の奨励賞候補者の選考対象となる業績は、本学会学術総会での筆頭発表5回とし、支部会学術総会は対象外とすることを確認した。本改定の周知のため、評議員会、通常総会のNP0第16期事業計画の提案の中で赤松学術担当理事から説明することとした。
3. 各種委員会委員の選出
  - (1) 理事候補者選挙管理委員…本理事会での選出を見送り、別途、書面審議とすることを合意した。
  - (2) 食環境整備推進委員…次の6名が選出され、任期は2018年8月1日から2019年10月31日とすることを承認した。

委員長：赤松利恵

委員：石田裕美、市川陽子、串田修、黒谷佳代、高戸良之
4. 今後の会議予定…平成30年8月以降の会議予定が配布された。

## 【Ⅲ. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告…配付資料により報告があり、これを了承した。
2. 投稿規定・執筆要領の改定…原案を承認した。
3. 栄養学雑誌サプリメント「平成29年度厚生労働省委託事業WG特集号」刊行準備…川久保清理事をゲストエディターとし、2020年4月刊行に向けて準備を進めていることが説明され、これを了承した。

## 【Ⅳ. 学術関連事項】

1. 第65回学術総会準備状況…新たに就任した花角英世新潟県知事を名誉顧問とすることを承認した。事前参加登録者1500人、一般演題登録数644題、講演要旨集発送予定8月22日、実行委員会最終名簿、特別講演などの学会ホームページ会員専用ページの掲載は5演題を予定している、など、最終の状況が報告された。

講演要旨集の広告協賛について、「広告」とはいえ直接的に商品を宣伝する内容に躊躇した経緯が報告され、審議の結果、第66回学術総会より表2・表3・表4ページは広告を掲載しな

いことを承認した。

2. 第66回学術総会準備状況…事業概要が配布され、これを承認した。参加費を次のとおり承認した。

〔参加費〕 事前登録：正会員9,000円、学生会員3,000円、日本栄養士会会員11,000円  
当日登録：正会員11,000円、学生会員4,000円、日本栄養士会会員13,000円、  
学生（学生会員以外）6,000円、前述以外の者15,000円

〔懇親会費〕 事前登録：8,000円、当日：10,000円

3. 第67回学術総会準備状況…前回の理事会で要望があった開催日（曜日）について、再度調整した結果、会場の都合で当初の提案どおりとしたい旨説明があり、これを承認した。

学術総会会長 山部秀子 天使大学教授・北海道栄養士会長

会期と会場 2020年9月2日～4日 札幌市・札幌コンベンションセンター

担当支部会 北海道支部会

4. 学術総会の演題登録システムについて…現在、本学会が利用している、UMIN（大学病院医療情報ネットワーク）協議会から、オンライン演題抄録登録システムサービス終了の通知があったが、その後、平成31年度（2019年度）は有償で継続運用することとなった経緯が説明され、本学会ではこの有償サービスを利用することとし、料金は学会本部の予算で対応することを承認した。

なお今後について、UMINサービスが恒久的ではないことが懸念されるため、各理事それぞれの所属学会等が利用しているシステムについて情報収集することを合意した。

5. 「健康な食事・食環境」推進事業…配付資料により報告があり、これを了承した。  
6. 日本給食経営管理学会共催事業「食品データベースに関する連絡・検討会」（仮称）…6月17日に開催した第1回準備会の報告が配布され、これを了承した。  
7. 関連学協会等との連携…次の事業について対応したことが回覧資料により報告され、これを了承した。

(1) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会総会への出席

(2) ILSI国際会議プログラム委員会への出席

(3) 一般社団法人和食文化国民会議会報他資料提供

(4) 公益財団法人不二たん白質研究振興財団「公開講演会『大豆のはたらき in 札幌ーおいしさと健康を通してー』」の後援

(5) 一般社団法人日本摂食障害協会「世界摂食障害アクションディ2018」後援事業開催報告

(6) 公益社団法人日本栄養士会「平成29年度管理栄養士専門分野別人材育成事業」報告書の送付

(7) 公益社団法人日本栄養士会「栄養の日・栄養週間2018」ポスターの送付

(8) 小浜市「第17回杉田玄白賞」募集周知協力

#### 【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業…支部会事業の会員専用ページ掲載について、積極的な協力をいただきたい旨、発言があった。5月24日から8月17日までの更新情報が配付資料により報告された。  
2. JSNDメールニュース事業…配信状況、「役員からの一言」担当一覧など、配付資料により報告された。臨時配信として支部会事業情報（ただし配信は全会員が対象）も対応できることを確認した。

#### 【VI. 国際関連事項】

1. 国際活動推進委員会報告・・・総会資料により報告があった。栄養学雑誌第76巻サプリメントについて、通常号と同様に1冊1,200円（＋税）で第一出版株式会社から頒布を行うが、学会員の国際交流に資するため、希望者には5冊までを無償提供すること、日本語要旨を栄養学雑誌第76巻第6号に掲載することが補足され、これを了承した。

#### 【VII. 厚生労働省委託事業】

1. 平成30年度管理栄養士専門分野別人材育成事業 教育養成領域での人材育成・・・配付資料により事業概要が説明され、これを了承した。

#### 【VIII. 支部会活動】

1. 支部長会議の準備・・・前回理事会で議事に追加した「法人格のあり方」は、議事から削除することが提案され、これを承認した。当日の資料等を配付資料により確認した。
2. 各支部会からの活動報告
  - (1) 北海道支部会・・・第15回支部会学術総会は菊地和美藤女子大学教授を学術総会会長とし、12月8日に札幌コンベンションセンターで市民公開講座、自由集会とともに開催する。
  - (2) 東北支部会・・・第4回支部会学術総会は鈴木秀子会津大学短期大学部准教授を学術総会会長とし、6月23日～24日に福島テルサで開催した。7月28日に予定していた市民公開講座は中止となった。
  - (3) 関東・甲信越支部会・・・第6回支部会学術総会は木村典代高崎健康福祉大学教授を担当幹事とし3月10日に高崎市シティギャラリーで開催する。実践栄養学研究セミナーは荒井裕介千葉県立保健福祉大学准教授を担当幹事とし、10月から4回コースで開催する。市民公開講座は10月21日に東京家政学院大学で開催する。
  - (4) 北陸支部会・・・第14回支部会学術総会は石黒康子富山県栄養士会長を学術総会会長とし、2月24日に富山県総合福祉会館で市民公開講座とともに開催する。
  - (5) 東海支部会・・・第7回支部会学術総会は栗木清典静岡県立大学教授を学術総会会長とし、6月10日にウインクあいちで、市民公開講座とともに開催した。第8回支部会学術総会は森圭子愛知学院大学教授を学術総会会長とし、6月9日にウインクあいちで市民公開講座とともに開催する。実践栄養学研究セミナーは前期のフォローの年に位置づけ、調査研究を継続している今期の参加者を対象に、10月から2回コースで開催する。
  - (6) 近畿支部会・・・第17回支部会学術総会は桑島千栄京都光華女子大学准教授を学術総会会長とし、3月10日に京都光華女子大学で開催する。実践栄養学研究セミナー（ステップ1）は、日本栄養・食糧学会近畿支部会共催事業とし、7月から3回コースで開催する。
  - (7) 中国支部会・・・第14回支部会学術総会は小野章史川崎医療福祉大学教授を学術総会会長とし、6月10日に川崎医療福祉大学で開催した。第15回支部会学術総会は引野義之松江赤十字病院栄養課長を学術総会会長とし、6月15日～16日に島根県立大学出雲キャンパスで開催する。
  - (8) 四国支部会・・・第5回支部会学術総会は稲井玲子高知県立大学教授を学術総会会長とし、6月30日に高知県立大学で市民公開講座とともに開催した。水上元高知県立牧野植物園園長、木戸康博金沢学院大学教授の講演を、学会ホームページ会員のページに提供した。第6回支部会学術総会は宮本賢一徳島大学大学院教授を学術総会会長とし企画している。
  - (9) 九州・沖縄支部会・・・第6回支部会学術総会は6月に鹿児島市内の開催で調整している。

#### VIII. その他

会議終了時刻を待たずに予定の議事が全て終了したため、理事会出席者に追加の発言を求めたところ、次の発言があったことを記録する。

- (1) 山本理事・竹内第66回学術総会会長から、第66回学術総会のプログラムについて本部からの企画・提案があれば本年10月末までに、連絡していただきたい旨、要望があり、これを了承した。
- (2) 名和田理事から、支部会活動に関連する理事会議決事項の支部への連絡方法について質疑があり、支部会選出理事がその任を担うことを確認した。
- (3) 瀧本理事から、栄養サミット2020、栄研100周年などの機を捉えて、医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康栄養研究所と本学会の共催事業を企画したい旨、提案があり、具体化に向けて、今後、協議することを了承した。

以上